

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ヒートウェーブ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.478	ΔRG	0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

比較対照ボール：パワーマシン

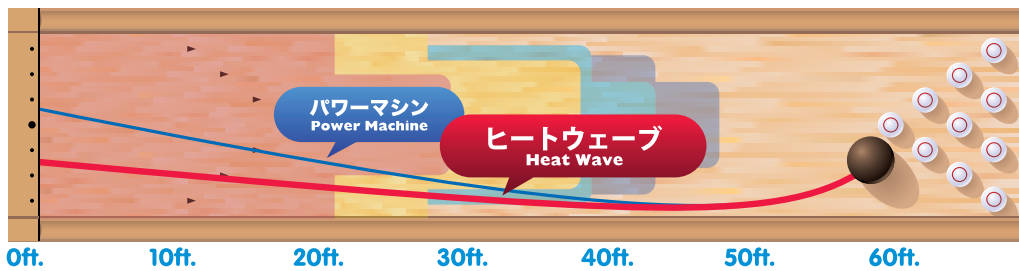
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

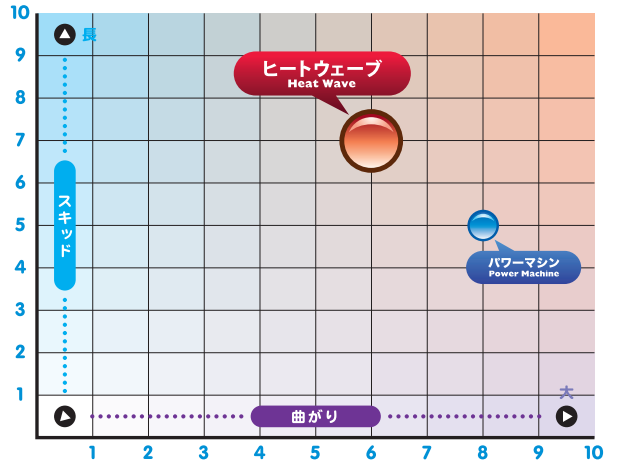
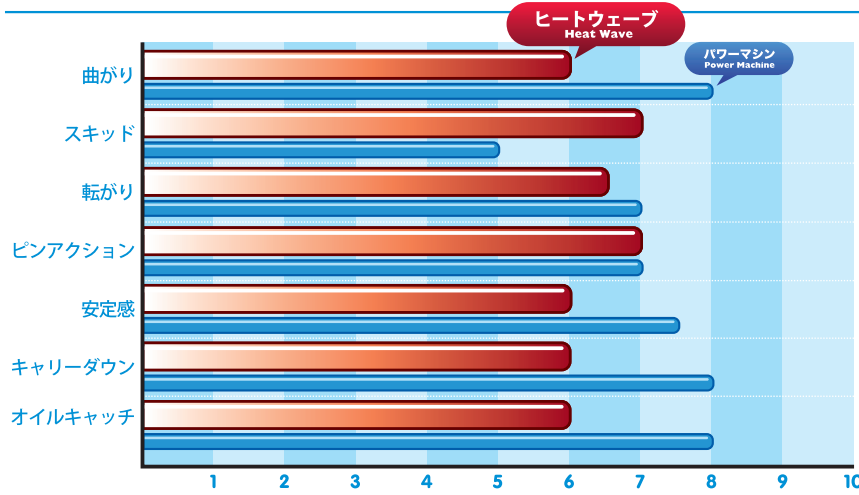
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	Light Oil	Light to Medium	Medium Oil	Medium to Heavy	Heavy Oil	バックエンドリアクション	Smooth	Smooth to Arc	Arc	Arc to Sharp	Sharp Angle	レンジス	Early Roll	Early to Med	Med-Lane	Med to Late	Late Roll
------------	-----------	-----------------	------------	-----------------	-----------	--------------	--------	---------------	-----	--------------	-------------	------	------------	--------------	----------	-------------	-----------

ボールの評価

トラック社の「ヒート」シリーズといえば、緩やかに弧を描き、扱いやすさを信条にこだわりを持って作られています。このヒートウェーブは、走りを中心としたPower Plus Reactiveをカバーストックに採用し、「ヒート」シリーズでおなじみのTri- コアのボトムにフリップブロックを装着し、ΔRG を0.050まで引き上げています。

強めのコアに走りのカバーストックの組み合わせによって、ミディアムコンディションを中心に手前のオイルが薄くなってきても使用できるように仕上がっています。投球した第一印象は非常に落ち着いた、やはりコントロール性能が良いイメージがあります。ΔRGの影響が出ていて、フレア幅が6インチにも及びます。そのフレア幅がかえって手前からのパワーを感じさせ、バックエンドでの過激さを抑えた落ち着いたイメージを作っているようです。以前に発売された「ヒート」シリーズのどれにも分類できないリアクションで、曲がりの大小から言えばヒートとデザートヒートの中間ぐらいのイメージで使用できるでしょう。

デザートヒートよりドライゾーンでの反応は良く仕上がっていますので、走りを求めている方やスピードが不足がちの女性の方には用途は高いと思います。穏やかに丸く曲がってくるイメージがありますので、ピンヒットまでの曲がり幅が読みやすくラインのイメージも取りやすいヒートブランドを是非お試しください。

特記事項

コンディションが遅めになってから使用できるボールをお探しの方や女性の方にはきっと気に入って使用できるボールだと思います。